



大津市指定文化財
磯尾山ノ神遺跡



弥生土器壺
南滋賀遺跡



重要文化財
倭装神文銅鏡 石山寺遺

信長・秀吉・家康が城を建てた！(戦国・江戸時代)
渡来人がやって来た！(古墳時代)

石はすごい！(旧石器時代)

古代人は字がうまい？(奈良・平安時代)



鬼瓦 坂本城跡



ミニチュア竈 太鼓塚B3号墳

セタシジミはうまい！(奈良・平安時代)

お米もうまい！(弥生時代)

瀬田に県庁があった！(奈良・平安時代)



大津市指定文化財
磯尾山ノ神遺跡



大津市指定文化財
側視形蓮華文方形軒瓦
南滋賀遺跡 近江神宮蔵



金箔五七桐文軒丸瓦
大津城跡



琉球銭貨「世高通宝」
坂本遺跡

町人も豊かに暮らしていた！(室町時代)
大津に都がつくられた！(白鳳・奈良時代)

装飾須恵器蓋 袋1号墳

大津市民憲章制定50周年記念
大津市埋蔵文化財調査センター開設15周年記念

地中からの贈りもの

—遺跡が語る大津—

平成23年7月23日(土)~8月28日(日)

【開館時間】 午前9時から午後5時(入場は午後4時30分まで) 【休館日】 月曜日
【主催】 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・大津市埋蔵文化財調査センター・京都新聞社
【後援】 NHK大津放送局、BBCびわ湖放送、エフエム滋賀
【観覧料】 一般:800円(640円) 高大生:400円(320円) 小中生:無料
※()内は、前売・15名以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方、障害者の方の割引料金(証明するものをご提示ください)
※前売券は、大津市観光案内所(大津駅・石山駅・堅田駅前)、大津市民会館、ローンチケット(Lコード55836)をはじめ、
京阪津地区の主なプレイガイドで7月8日から8月28日まで発売。

大津市歴史博物館

小中学生無料

地中からの贈りもの

—遺跡が語る大津—

旧石器・縄文時代から江戸時代までのよりすぐりの出土資料を一挙公開!

近江の地名は古代の都に近い淡い海(淡水湖・琵琶湖)がその語源と言われています。琵琶湖の周辺ではすでに旧石器時代には人々が住みはじめ活動していたそうです。以来、人々のあゆみは琵琶湖やその周囲の山々と深くかわりながら展開してきました。それらの生活の跡は大地に刻まれ、遺跡として地中に眠っています。現在、大津市内には石山貝塚・皇子山古墳・近江大津宮跡・錦織遺跡・崇福寺跡・南滋賀廃寺・近江国庁跡・坂本城跡・大津城跡・膳所城跡など約400カ所のバラエティーに富んだ遺跡が分布しています。

近年、各種開発行為に伴う発掘調査が活発に実施され、多くの重要な遺跡が発見されるようになりました。発見された遺構や遺物は、私たちに先人の歴史を語りかけてくれる貴重な文化財であり、後世の人々に伝えていかなければなりません。

本展では大津市内の遺跡の発掘調査によって出土した最新の資料を中心として旧石器時代から江戸時代までの大津の歴史に迫ります。



装飾須恵器蓋 袋1号墳
古墳時代後期(6世紀後半)

須恵器蓋の蓋でその天井部中央に蓮(はそう)を描え、その周囲を巫女が二人、雌雄の鹿が二匹、その鹿を弓矢で狙う狩人がめぐる。



ミニチュア竈 太鼓塚B3号墳
古墳時代後期(6世紀後半)

付底系のカマド。焚口は富士額状を呈し、庇は全周せず。背後に煙出しをもつ。胴部上半と中央やや下半に二重の文帯がめぐり、下側の文帯と把手は一連となる形態。



金箔五七桐文軒丸瓦 大津城跡
戦国時代(16世紀後半)



金箔五七桐文飾瓦 大津城跡
戦国時代(16世紀後半)

城主は浅野長政から京極高次まで。金箔瓦は大津城跡城後の整地層から出土。瓦当面の桐の葉の文様部分にわずかに金箔が残る。



重要文化財
袈裟襷文銅鐸 石山寺蔵
弥生時代(2世紀)

石山寺創建の際発見されたものと伝えられていたが、寺の西南の水田で文化5(1806)年に出土したことが判明。銅鐸は交線鈕4式近畿ⅢC型に分類される。



鬼瓦 坂本城跡
戦国時代(16世紀後半)

石組井戸に廃棄された状態で出土。馬面のような面長な顔立ちだが、一對の角が生えていることから龍頭とみられる。



弥生土器壺 南滋賀遺跡
弥生時代中期(1世紀)

細長い頸部に下膨れの体部をもつ形態の壺。体部上半の上・下側に1本ずつのへら描き沈線文による区画を設け、その中に2本1組の櫛描重弧文を7つと4本1組のそれをひとつ描く装飾性の高い壺。



大津市指定文化財
側視形蓮華文方形軒瓦(サソリ瓦)
南滋賀廃寺 近江神宮蔵
白鳳期(7世紀後半)

寺院の屋根の軒先瓦。四角形でしかも蓮の花を横から見たデザインは全国的にも珍重。昭和3(1928)年の発掘調査で出土して以来、「さそり(サソリ)瓦」として親しまれている。



琉球銭貨「世高通宝」 坂本遺跡
室町時代(15世紀後半)

坂本や堺、博多などの都市遺跡、大坂や一乗谷の城下町からの出土がみられるが、当時の流通量が小規模であったのか、沖縄での出土も少なく、本例は貴重。

大津市指定文化財
鷗尾 山ノ神遺跡
白鳳期(7世紀後半)

4号窯跡出土。4基ともほぼ同じ大きさで、高さ1.4m、胴部の長さ1.0m、胴部幅0.6m。寺院の屋根を飾ったもの。



関連講座 ※有料。事前申込要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

- 7月30日(土)
「大津の城と城下町」松尾 信裕(大阪城天守閣館長)
- 7月31日(日)
「瀬田橋の戦いと大津宮—壬申の乱から見た石山・膳所地域—」
松浦 俊和(大津市埋蔵文化財調査センター所長)
- 8月13日(土)
「考古学からみた近江の遺来文化」
吉水 真彦(本館副館長)
- 8月20日(土)
「壬申の乱と天智皇子—天智天皇の目指したもの—」
井上 満郎(京都市歴史資料館 館長)

大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2
TEL.077(521)2100 FAX.077(521)2666
<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp>

